

# 伊予市シティブランド確立業務 第5回市民ワークショップ報告書

テーマ: 「ブランディングのためのロゴマークについて話し合おう2」

- 開催日時:平成 26 年 10 月 9 日(木) 19 時~21 時
- 開催場所:伊予市中央公民館
- テーマ:ブランディングのためのロゴマークについて話し合おう2
- 参加者:一般市民20人、協力職員5人、主催者スタッフ7人(未来づくり戦略室 4 人、セキ株式会社 3 人)、ファシリテーター1人、コピーライター1人

## ■プログラム

1. ロゴマーク修正案発表
2. 第1回個人投票、集計
3. 個人発表
4. グループ討議
5. 第2回個人投票、集計
6. 個人発表



## ■ロゴマーク修正案発表

ファシリテーターの山内氏より、今回のデザイン案に関する説明および、投票する上での考え方が説明されました。

山内氏/前回、皆さんに選んでいただいた3案をブラッシュアップして持ってきました。今回は「名刺の大きさまで縮小したり、白黒で表現するとどうなるのか」などの展開例も用意しています。そういったところも見ながら選んでください。「コンセプトなどを説明しないと分からないロゴマーク」ではあまり意味がないと思いますので、最初は説明なしで選んでいただきます。1人1票投票していただいた後、「なぜその案を選んだのか」を発表してもらいます。その後、再度投票していただいて、最終決定まで持っていきたいと思います。また今回、ポロシャツや封筒、名刺、のぼりなどの展開はあくまでも例です。最終的には正式に決まった案で再度展開案を検討したいと思います。前回案もお出ししますので、各案がどのように変わったのかも見てください。

3つの案に共通して言えるのは、赤、グリーン、ブルーの3色で展開している点です。今後使用していく中で、例えば食品だと寒色系は良くないので暖色系を使うとか、逆に寒色系の方が良い商品もあります。またお茶だとグリーンが合うと思います。このように無難に使い分けられる3種類の色のロゴマークを作っています。「この色でなければいけな

い」という決まりはありませんが、一番上にある色が「基本デザイン」になります。

ロゴマークを決める上で、「現在ある伊予市のイメージを反映させる」のか、それとも「伊予市の新しいイメージを打ち出す」のかを検討する必要があります。「全てを物語っているマーク」というのが一般的ですが、一方で「これって何？」というマークの方が頭の中に入りやすいということもあります。また他市町との差別化やインパクトなども含め、何を優先させるのかで選ぶ案が違ってくると思います。ポイントは「今までの伊予市のイメージをそのまま踏襲するのか」、それとも「インパクトのある案で新しい伊予市を打ち出すのか」だと思います。グループ討議では、その辺りのことも話し合ってみてください。

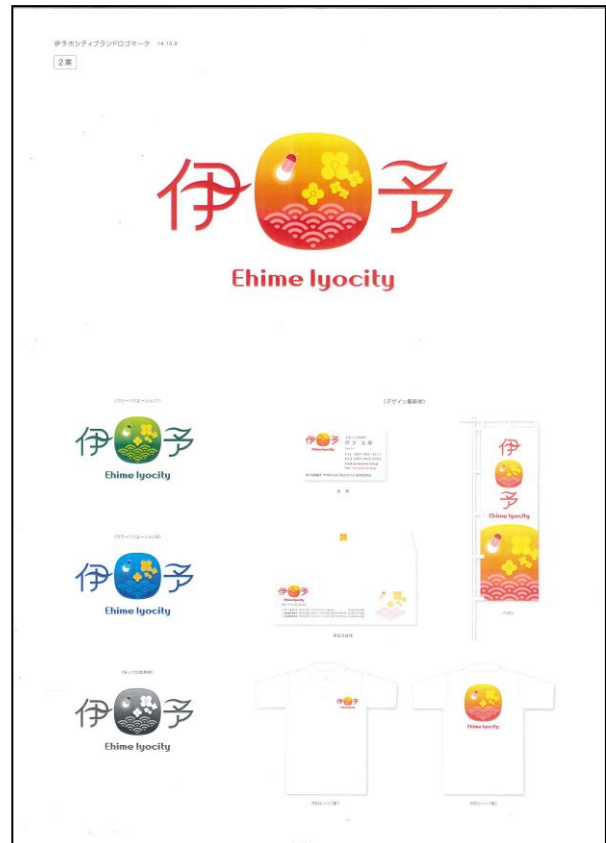
1つの案を選び、投票するには「覚悟」が必要です。ロゴマークが決まった後、「なぜこの案を選んだのですか？」と聞かれたときに、責任を持って回答できることが求められています。「自分が使うとしたら」「自分が伊予市のことを紹介するとしたら」というように、選ぶ“責任”と“覚悟”を持って、自分の考えで決めてください。

■ロゴマーク修正案

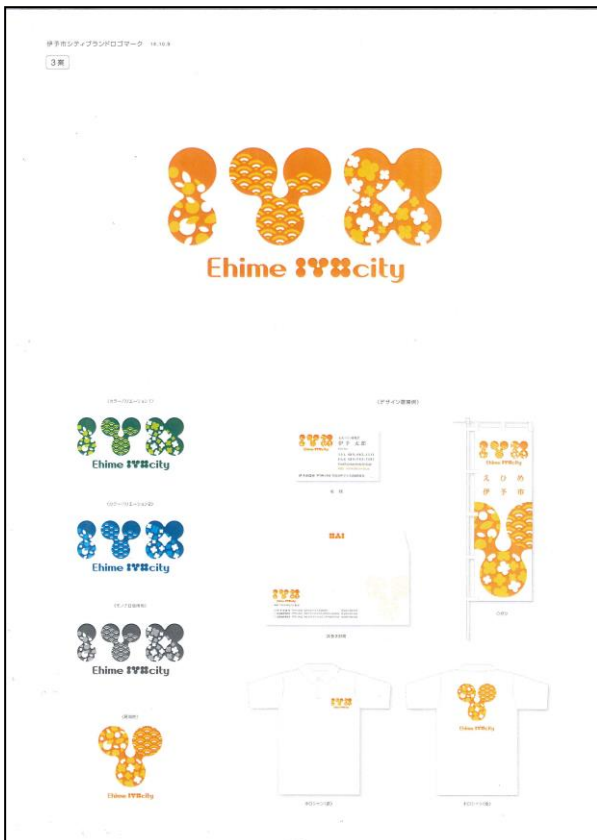
第1案



第2案



第3案



## ■個人投票

ロゴマークの修正案3案が発表され、ワークショップ参加者による2回の個人投票が行われました。前回同様、1回目は各案のコンセプトなどの説明がない状態で、1人1票を投じました。参加者は自ら投票した案を示しながら「投票した理由」を

発表。次にグループ討議で、個人発表では言い足りなかったことなどを話し合い、2回目の投票が行われ、最終的に第3案が最多得票を獲得。次回ワークショップでは第3案をさらにブラッシュアップした最終案が示されます。

|     | 前回案(修正前) | 今回案(修正後) | 上段/前回案からの修正点<br>下段/コンセプトなど  | 投票数  |
|-----|----------|----------|---|--|
| 第1案 |          |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●前回案を明朝体の筆文字に変更。</li> <li>●3案の中で最も無難で小洒落た案。筆文字を使い、外国人には印象深いデザイン。</li> </ul>  | 1回目<br><b>3票</b><br>↓<br>2回目<br><b>3票</b>  |
| 第2案 |          |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●前回案で描いていた鳥を、伊予、中山、双海の共通の昆虫であるホタルに変更。正円は硬いイメージがあったので、やわらかい形に変更し、色も黒をやめ3色での展開に変更。</li> <li>●中央のイラストが1つのマークになっているシンボライズイラストを用いた案。現時点での伊予市のイメージが伝わりやすい。</li> </ul>  | 1回目<br><b>19票</b><br>↓<br>2回目<br><b>6票</b> |
| 第3案 |          |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●前回案は色数が多くなるという問題があったため、「IY O」の文字全体を1色で表現し、シンボルマークに採用。「Y」の1文字でもシンボルマークになるような展開案も別途用意。</li> <li>●現代風のシンボライズされたデザイン案。「I」はみかんや森の木漏れ日など中山を、「Y」は双海の海や波を、「O」は伊予市の花である菜の花をイメージ。数字でいうと「2.3.4」の流れを表している。</li> </ul> | 1回目<br><b>7票</b><br>↓<br>2回目<br><b>20票</b> |

## ■感想カード(一部要約)

○いろいろな見方があるなと感じ、勉強になりました。多くの人の多くの意見をもとに、より良いものにすることが大切だということが分かりました。

○ロゴマークが決まったことで、次の展開が楽しみです。

○もっともっと期待しております。お願いします。

○皆で意見を出し合って討論した結果、新しい感覚のデザインに決まった。いろいろ手を加えて伊予市らしいシンボルマークができると思いいます。

○今回素朴にありのままデザインを選んだが、今後、長く使われるデザインとなれば、ちょっと変わった視点が必要なのかと思いました。

○本日は前回分のブラッシュアップが展開されました。ロゴマークを作る意味、覚悟が必要であると感じ、最終的に自分自身の意思だけで選ぶことができました。次回どのようになって返って来るのか、非常に楽しみです。

○前回のロゴから変化があり楽しかった。シンボルとシグナルの違いで、ロゴの選び方があった。

○判断がぐらついてしまいました。「IYO」(第3案)をじっくりと見ていると目が慣れてきました。しかしまだ絶対的支持はありません。

○前回からブラッシュアップされたデザインは、どれも良くとても悩みました。新しい伊予市を作っていくためには、斬新なものがないのかなとあらためて感じました。次回の展開が楽しみです。

○楽しい時間はあっという間に過ぎて行きました。皆さんと意見を出しながら「みんなで作っている感」に浸っておりました。皆さんでいいものを一緒に作って行く一員になれて、本当に楽しかったです。

○今回は以前の案がどのようにブラッシュアップされるのか、とても楽しみにして参加。予想通り、なかなかの仕上がりで面白かった。ロゴマークを選ぶ動機とか、いろいろ考えさせられ、将来のこととか、ほかとの差別化とか、シグナルとシンボルの違いとか、勉強になりました。次回もぜひ参加したいと思います。

○作るの難しいが、選ぶ方がもっと難しい？真ん中(第3案)を選んでは見たが、名刺に載せられるのかな？

○山内先生のロゴマーク3案が発表された。全員で投票し、意見を発表した。自分の第一印象で選ばせていただいたが、話し合う中で先生の思い入れが感じられ、2回目の投票もこれを選んだ。「中からではなく、外から見た伊予市のイメージを大切に」という言葉が印象に残った。

○前回より「グッ！！」と良くなってロゴマークが出て来たのにはびっくりした。みんなの意見が中央のマーク(第3案)に集まって、(みんなが)これからの伊予市に変化と希望を持っていることを強く感じた。今回、自分自身は右側の案(第2案)が良かったが、最後の説明で中央のマーク(第3案)がだんだん良く思えてきて、好きになる自分がいた。次回、もっともっと良くなるマークにしたい。

○前回来られなかった状態で今回参加して、いろいろなロゴマークがあり、どれもすばらしいもので(1つに)決めるのが大変でした。しっかりと「どのように使っていききたいのか」などを考えて、次回の会に参加したいと思います。

○今日は内容の濃い会合でした。3つのデザインの中から1つの案を1時間かけて選ぶのに、話し合ったり、考え込んだり。みんなと影響し合うことで、新たな自分の意見が出てきたりして、楽しくそして少し疲れた感じでした。次回も楽しみです。

○第一印象では第2案を選んだのですが、いろいろな意見を聞いているうちに第3案に心が移りました。第3案も「伊予」って分かりにくいところはあるのですが、デザインが少し変わった感じが良くなった。

○真ん中(第3案)のデザインが良いと思い、2回とも入れたが、「何となく」という感じで、「こうだからこれに入れた」というものが今のところ薄い。次回のデザイン案でそこが見つけられれば。

○非常に楽しかったです。伊予市に対する皆さんの熱い想いが詰まったロゴマークになると思います。また、市外の人に対して、次世代の伊予市民に対して、自慢できるものになると思います。

○先生の意見をお聞きし、ロゴマークの意味が分かったように思います。

○今回のロゴ案を見て、何を基準にして選ぶのかを考えた場合、自分の勤務先から他県、他市町村へ売り出すための武器として考えた。まだ確定はしていないが、これからはどのような売り出し方をしていくのかを考え、様々な人の目を惹き付けるようなアピールをしていきたい。

○最初のフィーリングで「これ」と決めたデザインが、他人の意見で左右されてくる。人間の感覚は紙一重であることが感じられた。決定は決定で尊重すべきであり、今後、自分の意見を取り入れてもらえるよう頑張ろう。

○今日初めての参加でしたが、伊予市の未来を真剣に考え、ロゴマークを選ぶことにも責任を持つということに、あらためて伊予市民としての責任を強く感じました。次の世代、その次の世代にとって、誇りを持てる伊予市をどのように作って行くのか、他人事ではいけないと思いました。

○いろいろな視点からロゴマークを見ると、自分の考えなども変わってきて面白かった。

○最初から気に入っていた案に決まってくれいいです。ただし、「O(オー)の部分は丸一つでは重くなるということで丸四つにした」ということですが、返って「IYO」に見えにくくなったのではないのでしょうか？大きな丸の中に何か柄などを入れるなどして、最初の形にならないかと思います。あと「いよのくに」でなくとも平仮名にした方がロゴの「IYO」とのバランスが良いと思います。「Ehime IYO City」というのは返って田舎臭い気がします。



写真は左が第1案、中央が第3案、右が第2案